

WONDERFUL!

JICA海外協力隊ルワンダ 小学校教育 石井理紗子

自己紹介

Muraho!こんにちは!

このたび、埼玉親善大使となりまして石井理紗子と申します。私はJICAの現職教員 特別参加制度を利用し、2021年8月から小学校教育 隊員としてルワンダで活動しています。

日本では埼玉県 蕨市の小学校に在籍しており、このように埼玉親善大使として活動できることをとても光栄に思います。埼玉県とルワンダの架け橋になれるよう、それぞれの地のよさを伝えていければと思います。よろしくお祈りします!

※本レポートにはふりがなを付けますので、ぜひ学校等でもご利用ください。

WONDERFUL!とは?

私は現在、ルワンダの首都キガリにある小学校で主に図工やICTを教える活動をしています。このレポートでは、ルワンダでの暮らしや学校生活で「wonderful!すばらしい!」と感じたことを紹介していきます。



学校は、1日10時間授業!?

ルワンダの人々は、とにかく早起き! 5時を過ぎるとワトリの鳴き声と共に起床して1日の活動を始めます。

私の活動している小学校では朝6:30頃子供たちが登校してきます。教室にある時間割を見てみると、全学年驚きの10時間授業! 休み時間はほとんどありません。

学習する教科は日本の小学校とほとんど変わりません。その一方で、ルワンダでは英語のほかに「フランス語」と「キニアルワンダ語」を話す人々がいるため、国語ではなく、それぞれの言語を学ぶ時間があります。友達同士で話す様子を見ていると3つの言葉が混ざっている不思議な光景。小学校を卒業する頃には全員が3つの種類の言葉を話せるなんて、まさにwonderfulですね!

